

クリオラ・シングイン 2022 へのお誘い

東京バッハ合唱団・創立 60 周年記念企画

《クリスマス・オラトリオ》を みんなで歌いましょう

J.S.バッハの《クリスマス・オラトリオ》(略して「クリオラ」)を歌った覚えのある方!

— 日本語/ドイツ語/英語を問わず —

「シングイン形式」のぶっつけ本番に参加しませんか?

お手許の楽譜をご持参ください(どの版でも可)。当日の貸出・販売もあります

オケ付きです

■日時:

12/3 [土]

14:00 開始
(13:30 開場)
16:00 終了

■参加費: 1000 円

(当日の受付でお支払いください)



♪ 喜べや このよき日を…

♪ Jauchzet, frohlocket, auf, preiset die Tage!

■会場:

日本キリスト教団

荻窪教会

(JR 荻窪駅南口 8 分)

(裏面に地図)

<演奏>

・管弦楽: ARS (コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン) 有志
[友情参加]

・オルガン: 田尻明葉

・訳詞と指揮: 大村恵美子

・合唱: クリオラ・シングイン合唱団 2022
(参加の皆さん+東京バッハ合唱団)

・お申し込み/お問い合わせ: 東京バッハ合唱団



(メール office@bachchor-tokyo.jp 電話 03-3290-5731)

・主催: 東京バッハ合唱団

・後援: 杉並区

■併設: 未経験者/合唱初心者向け

《クリオラ》入門講習会

・全 4 回(土曜日、14:30~15:30)

①10/15、②11/22、③11/12、④11/19

・会場=荻窪教会

・受講料=1000 円(4 回通し、コピー楽譜とも)、裏面の<シングイン>曲目ご参照。

※参加したいけど、《クリオラ》は初めて、混声合唱も未経験、そもそも自信がない……。

これらの不安に一挙にお応えします。おもに大合唱とコーラルを対象に、一音一音の音取りからスタート。ベテラン団員が指導。

※受講のお申し込み: 合唱団事務局(左欄)

“日本語バッハの楽しさを、あなたも”

■Let's sing together J.S.Bach's "Christmas-Oratorio" in each own Language !

Bach's Weihnachts-Oratorium Sing-in 2022

14-16 pm, December 3, 2022 at OGIKUBO CHURCH (<http://www.ogikubo-church.com>)

application & information BACH-CHOR TOKYO (<http://bachchor-tokyo.jp>)

クリオラ・シングイン 2022

●初回(昨年12月)の好評をうけ、第2弾です。

今回は、《クリオラ》の後半(第4-6部)の合唱部分を取りあげますが、皆さんの大好きな冒頭合唱(第1部、第1曲)〈喜べや このよき日〉は、ひきつづき歌いましょう。

クリスマスの物語を実感しつつ歌えるよう、エヴァンゲリウム(今回は独唱ではなく団員の朗読)とコラールで繋ぎながら進めます。

当合唱団員は日本語訳詞(大村恵美子訳)で歌いますが、ドイツ語での経験者は、お手許の楽譜をご持参いただき、ご自由にお歌いください(英語版も歓迎)。

●なお、創立60周年の記念として、当団ベテラン団員の作品《キラキラ星変奏曲》を、われわれのみで演奏し、みなさまにご披露させていただきます。ご存じ「キラキラ星」の主題を変奏させながら、キリストの全生涯を歌いつくした渾身の大作です。今回はそのほんの一部の紹介ですが、教会聖歌隊などで、ひろく取り上げていただければ幸いです。

<新曲ご披露>

松尾茂春作曲《キラキラ星変奏曲》より、No.1~No.13、No.43(終曲)

指揮: 松尾茂春(東京バツハ合唱団団員)

合唱: 東京バツハ合唱団

<シングイン>

◇クリスマス・オラトリオ 第1部

1) 合唱[皆さん] 「喜べや このよき日を」

◇クリスマス・オラトリオ 第4部

36) 合唱[皆さん] 「ささげん ほめ歌を」

37) エヴァンゲリウム[朗読] 「八日 満ちたれば」

42) コラール[皆さん] 「イエス われを正し」

◇クリスマス・オラトリオ 第5部

43) 合唱[皆さん] 「栄光を 主に歌わん」

44) エヴァンゲリウム[朗読] 「イエスは ヘロデ王のとき」

45) 合唱[皆さん] 「いずこ生まれし ユダヤの君は」

46) コラール[皆さん] 「暗き夜は いま」

48) エヴァンゲリウム[朗読] 「これを聞いて ヘロデ」

50) エヴァンゲリウム[朗読] 「ヘロデは 民の祭司長」

53) コラール[皆さん] 「みやびの 広間にも」

◇クリスマス・オラトリオ 第6部

54) 合唱[皆さん] 「主よ 驕れるあだに」

55) エヴァンゲリウム[朗読] 「ヘロデ ひそかに博士らを」

58) エヴァンゲリウム[朗読] 「博士ら 王の言葉を聞きて」

59) コラール[皆さん] 「ながかたえに 立たん」

60) エヴァンゲリウム[朗読] 「博士ら 夢にてみ告げを受け」

63) 合唱[皆さん] 「死の怖れは 消え」

64) コラール[皆さん] 「あだは 今しも退けらる」

<東京バツハ合唱団ご案内>

●あなたも、日本語でバツハを歌いませんか？

・コロナ臨時体制下では、おもに毎週土曜日、15:30~17:30に、日本キリスト教団・荻窪教会(右図)にて。

・**団費** 6000円(月額)、(児童・学生は団費無料、30歳未満は半額)

・参加・見学は、事前にご一報のうえお越しください(ホームページで詳細をご覧になれます) <http://bachchor-tokyo.jp/>

<演奏者紹介>

■管弦楽: コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン(略称ARS)有志の方々の友情参加

2018年に誕生した演奏家のための“研鑽団体(Collegium)”。経験豊富な演奏愛好家と音楽専攻を目指す学生を対象に、緊密なアンサンブルによる“よりよき響き(Armonia Superiore)”の追及を目的とし、マスタークラスや演奏会実践形式での研鑽を実施している。2019年に当合唱団の小布施・野尻湖コンサートツアーに有志が同行して以来、活動趣旨を共有して協演をつづけている。

(ティンパニ[今回は太鼓で代替]は、東京バツハ合唱団団員)

■オルガン: 田尻明葉

東京音楽大学付属高校、東京音楽大学ピアノ科卒業後、桐朋学園大学カレッジディプロマコース、コントラバス科を卒業。ピアノを河原元世、樋口恵子、オルガンを植田義子の各氏に師事。コントラバスを齋藤順、市川雅典、石川浩之の各氏に師事。モスクワ音楽院常葉学園オーディション合格。選抜によるファイナリストコンサートに出演。ぎふリスト音楽院マスタークラスに参加。2010年別府アルゲリッチ音楽祭にオーケストラのメンバーとして参加。当合唱団第117回定期演奏会(2018年12月)以来、多くのコンサートで協演している。当合唱団の練習伴奏者としても活躍し、日ごろの合唱練習を支えている。

■訳詞と指揮: 大村恵美子

東京バツハ合唱団主宰者。1962年東京バツハ合唱団を創立、年数回の公演を実現させつつ今日に至る。現在までに教会カンタータ、受難曲、オラトリオ、モテット、ミサ曲など、バツハの宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成。その中の多くを自らの指揮で上演している。本年、合唱団創立60周年を機に『日本語版バツハ・カンタータ楽譜全集』(ブライトコプフ版底本、全192曲予定)未刊分の10年後完結の計画を発表した。

■合唱: クリオラ・シングイン合唱団 2022

(本日参加の皆さん+東京バツハ合唱団)

<会場ご案内>



- ・JR 荻窪駅 東京メトロ丸の内線荻窪駅下車 南口より徒歩8分
- ・南口駅前よりバスもあり(ほぼすべてのバス、「荻窪高校」にて下車)
- ・駐車場の用意はございません。お車でのご来会はご遠慮ください。
- ・〒167-0051 杉並区荻窪4丁目2番地10号 電話 03(3398)2104
- ・詳しくは、ウェブサイト <http://www.ogikubo-church.com/>